



## エコアクション21

# 環境活動レポート

(期間：平成22年4月～平成23年3月)

平成23年5月発行



このシンボルマークは、九電グループが取り組む4つの事業領域（総合エネルギー事業、情報通信事業、環境・リサイクル事業及び生活サービス事業）を「4つ葉のクローバー」でデザインしたもので、クローバーの茎は、Energy、Ecolgoyなどの「e」を意味し、九州電力がグループ全体の事業活動を通じて環境活動を推進していく姿勢を表現しています。



## 1 はじめに

株式会社キューデンインフォコムでは、地球環境問題及び資源循環などの環境問題を真摯に受け止め、温室効果ガス削減などの環境活動を確実に実施するために、エコアクション21を活用した取り組みを展開しています。

また、九州電力グループの一員として、「九電グループ環境活動計画」及び「グループ環境目標」の趣旨を踏まえ、「環境経営を推進し、持続可能な社会の構築」を目指します。

## 2 環境理念・方針

株式会社キューデンインフォコムは、次の「環境理念・方針」の基づき環境保全活動に取り組んでいます。

### 環境理念・方針

#### 【環境理念】

株式会社キューデンインフォコムは、ITコンサル事業及びデータセンター事業において、環境保全意識の重要性を認識し、豊かな社会とより良い地球環境の実現を目指します。

#### 【環境方針】

- (1) 環境保全に関わる法関連規制の順守により、社会的責任を遂行します。
- (2) 循環型社会の形成を目指して、エネルギーや資源の有効利用、廃棄物の再資源化により、環境負荷(二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量)の低減に努めます。
- (3) あらゆる環境課題に積極的に取り組み、継続的な環境活動(グリーン購入の推進等)を通して、広く社会に貢献します。
- (4) データセンターサービス提供を通じ、ユーザー企業の環境負荷軽減に貢献します。
- (5) 環境情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを図ります。

制定日 2009年11月16日  
株式会社キューデンインフォコム  
代表取締役社長 津上賢治

なお、当社の環境方針は、「九州電力グループ環境憲章」と整合を図り定めています。



### 3 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社キューデンインフォコム 代表取締役社長 津上 賢治

(2) 所在地

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号

(3) 環境管理関係の連絡先

環境管理責任者： 管理部長 田中 智徳

環境管理担当者： 同上

連絡先： 092-771-8510 (URL:<http://www.qic.co.jp/>)

(4) 事業内容

ITコンサルティング事業、データセンター事業

(5) 事業規模

	単 位	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
売 上 高	百万円	2,561	2,577	2,691
従 業 員 数	人	45	44	46
本社床面積	m <sup>2</sup>	236	236	252

### 4 エコアクション 21 認証・登録対象範囲

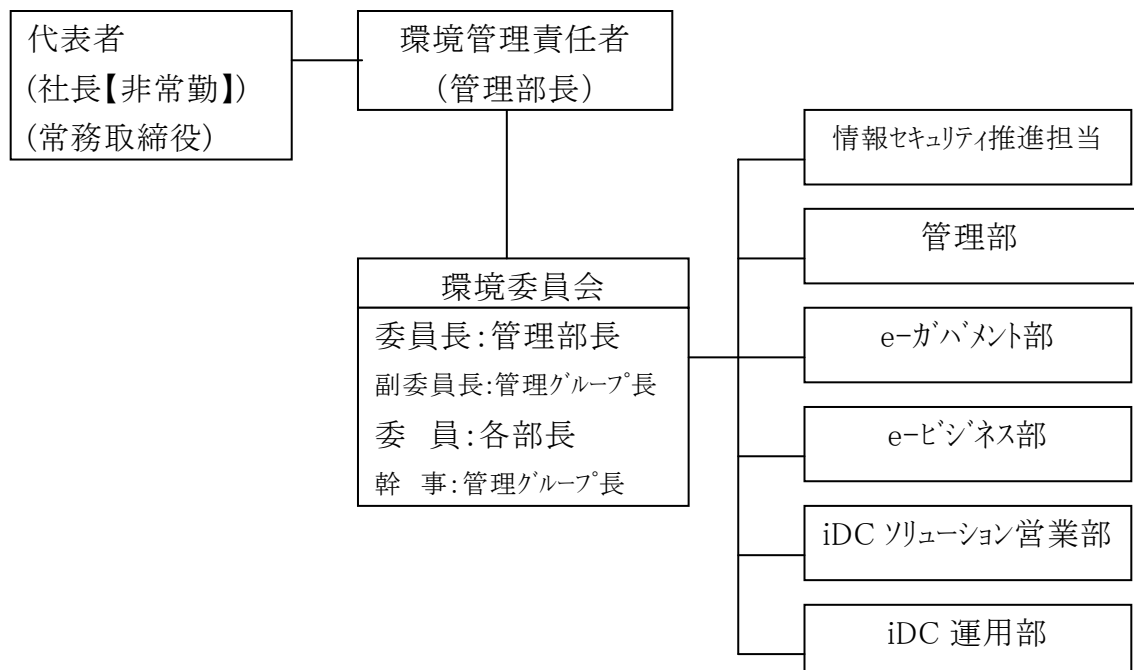
(1)事業者名 株式会社キューデンインフォコム

(2)所在地 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号

(3)事業内容

ITコンサルティング事業、データセンター事業

(4)対象組織





## 5 環境目標(中長期目標)

当社の環境目標については、平成 19 年度実績値に対し、下表のとおり目標を掲げて、環境活動を展開しています。

項目	目標	単位	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
			実績				
二酸化炭素排出量	データセンターの PUE 指数低減 <sup>※1</sup>	目標	—	99	98	97	96
		実績	100	94.5	86.9	83.8	—
	本社使用電力量の低減	目標	—	100.0	99.5	99.0	99.0
		実績	kWh/m <sup>2</sup>	98.4	97.9	100.2	96.99

※ 1 PUE(Power Usage Effectiveness)とは、データセンター全体の消費電力を、IT 機器の消費電力で割った値で、データセンターのエネルギー利用効率を示す指標の1つ。当社では、平成 19 年度の PUE 値を 100%とし、効果の把握を容易にした。

## 6 主な環境活動内容

項目	事業活動	主な環境活動の内容
二酸化炭素排出量	データセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーバ室空調環境最適化の検討</li> <li>エアコン温度・運転の適正管理</li> <li>昼休みの消灯 ・廊下やトイレの不必要な電灯の消灯</li> </ul>
	オフィス活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>昼休み、会議室不使用箇所などの消灯の実施</li> <li>冷暖房の温度調整を実施(夏:28℃、冬:20℃)</li> <li>エリア単位でのこまめな温度調整</li> <li>使用しないパソコン・プリンターの電源 off の実施</li> <li>電化機器の省エネタイプへの切り換え検討</li> </ul>
廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>古紙</li> <li>一般廃棄物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古紙、缶、ビン、ペットボトルなどの分別の徹底</li> <li>古紙リサイクルの実施</li> <li>電子媒体活用、両面印刷などによる用紙使用量の削減</li> </ul>
物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>HFC (R407C、R410A)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データセンター</li> <li>空調設備点検時における100%回収</li> </ul>
事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備工事時等における環境配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データセンター</li> <li>サーバールーム工事時等は、高効率型空調機器の選定や環境に配慮した工事方式を採用など</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育</li> <li>グリーン購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オフィス活動</li> <li>EA21の教育実施</li> <li>事務用品のグリーン購入の実施</li> <li>社会貢献活動への積極的な参加</li> </ul>



## 7 平成 22 年度環境目標とその実績

項目		単位	平成 22/4～23/3 (目標)	平成 22/4～23/3 (実績)	達成状況*1
二酸化炭素	データセンター使用 電力量(PUE)の低減	%	平成 19 年度の数值 から▲3%	▲16.2%	A
	本社使用電力量の 低減	kWh/m <sup>2</sup>	99	96.99	A
廃棄物	機密文書リサイクル 率※2	%	100	100 (1,720kg)	A
化学物質	機器点検時における HFC(R407C、R410A)の 回収	%	100	100	A
事業	設備工事時等にお ける環境配慮	%	100	100	A
その他 ※3	コピー用紙購入量	枚	514,000	533,573	B
	環境教育実績	人	120	132	A
	事務用品のグリーン購入	%	84.0	81.0	B

※ 1 達成状況評価:A 良好(目標以上を達成)、B やや未達成(90%以上を達成)、C 未達成(90%未満の達成)

※ 2 廃棄物の排出量は機密文書のみを把握。

※ 3 水の使用量は、テナントビルのため計測できませんが、定期的にトイレなど水周りの異状のチェックを行っています。



## 8 環境活動の取り組み結果と評価並びに次年度の取組みについて

### (1) 二酸化炭素排出量

- H22年度のデータセンター使用電力量(PUE指数)の低減目標は、H19年度と比較して▲3%削減でしたが、空調設備の効率的な運転や適切な温度設定に基づく運用を行なった結果、▲16.2%削減となり、目標を達成しました。

次年度も引続き、空調設備の効率的な運転に努め、電力消費抑制を図っていきます。

- 本社使用電力量の目標は、H22年度長期目標(99 kWh/m<sup>2</sup>)の達成に向けて、不使用パソコンやプリンターの電源 OFF 及び昼休みの消灯の徹底などに取り組んだ結果、96.99 kWh/m<sup>2</sup>となり、目標を達成しました。

次年度は、冷暖房温度の管理の徹底などにも注力し、更なる効果的な運用を図っていきます。

### (2) 廃棄物

- 廃棄物リサイクル目標は、H21年度に引続き100%でしたが、機密文書に関して目標を達成しました。

また、古紙など機密文書以外も分別回収を徹底し、100%のリサイクルを達成しました。

今後は、電子媒体の活用及び両面印刷などにより、用紙使用量の削減にも引続き取り組みます。

### (3) 化学物質

- 空調機点検時は、作業手順に基づいて作業を実施し、HFC(R407C)を100%回収しました。

次年度も引き続き、作業手順書の作成・遵守を徹底し空調冷媒ガスの大気中への散逸を防止します。

### (4) 事業

- 平成22年度に実施した、データセンターの増床工事において、環境配慮のため廃棄物の分別保管、一括搬出などの手法を活用すると共に、空調機や照明等については高効率型の機器を導入しました。

今後も事業と環境配慮を一体的に考えた活動を推進していきます。

### (5) その他

- 社員への環境意識向上については、環境教育を3回/年実施し、延べ132人が受講しました。今後も継続していきます。

- 事務用品のグリーン調達については、調達率84%を目標に取り組みましたが、グリーン購入が一部できない物品があった結果、調達率は81%となり、目標達成できませんでした。今後は、グリーン製品への代替を十分に検討し、調達率の向上を図ります。

- トイレなどの漏水のチェックを行い異状はありませんでした。



## 9 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

### (1) 適用となる主な環境関連法規

適用法規	該当する活動
地球温暖化対策の推進に関する法律 エネルギーの使用の合理化に関する法律	・第一種エネルギー管理指定工場 ・CO <sub>2</sub> 排出量報告など
特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	・データセンター内の空調設備(HFC)が該当 ・空調設備点検時におけるフロンガスの放出防止など
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・一般廃棄物及び産業廃棄物の排出 ・廃棄物排出の際の適正処理(委託契約書、適正保管及びマニフェスト発行など)

### (2) 違反、訴訟などの有無

- 当社事業に係る環境関連法規などの遵守状況を確認した結果、過去 3 年間違反はありませんでした。  
また、関係機関などからの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 10 代表者による全体評価と見直しの結果

- 今年度の環境目標については、全体的に概ね達成できているが、未達の目標項目については、十分に分析し、有効な是正処置を早期に講じることが必要である。  
今後は、当社の事業活動に直結した環境経営の推進を強化し、環境負荷の低減に向けた活動の拡大を図りたい。

以上